

新発売!

渡辺交配

らいき 来喜

(NX-BY438)

産地訪問レポート

～茨城県西地区～



< 茨城県西地区データ >

茨城県西地区は、古河市・坂東市・結城市を中心とした地区で、愛知県の後を受けて5月～7月上旬にキャベツが出荷されています。産地規模は、700～800ha。



これまで、業務用キャベツユーザーの皆様が首を長くして待っていた5月どり寒玉キャベツが完成しました。5月連休明けから出荷可能な寒玉系キャベツ、『来喜』の登場です。

『来喜』開発の経緯と導入

今まで、5月連休前後から収穫できるキャベツといえば、ボール系キャベツ、サワー系キャベツに限定されていました。ボール系、サワー系は春先の定番キャベツではありますが、水分を多く含む性質上、加工時の歩留まりに難点があったため、業務用加工会社からの要望に十分に答えられているとは言いかねました。

我社ではその点に着目し、初夏に最も早く収穫できる寒玉キャベツの育成に取り組み、完成させたのが来喜です。2006年から本格的な試作展開を行った結果、生産者の皆様から高い評価を頂き、2007年秋時きから本格的に販売が始まります。



『来喜』試作結果

< Nさん(坂東市)の評価 >

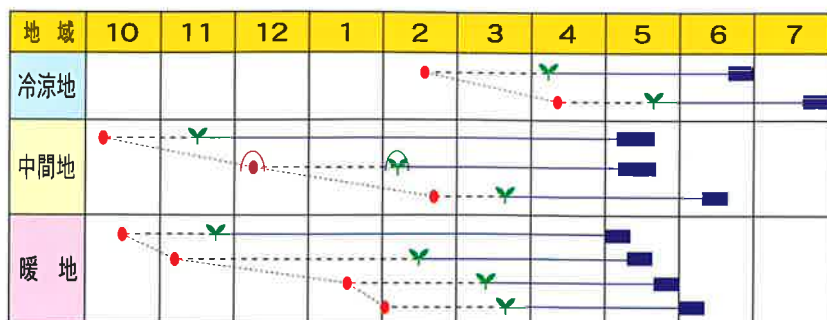
播種:11月15日 定植:1月9日 収穫:4月24日～(マルチ+べたがけ)

- ・玉がサワー系のような甲高ではなく扁平で、ダンボールに8個玉入れの大きさに揃った。
- ・重さも1.6～1.8kgまで乗ってきた。

< Kさん(常総市)の評価 >

播種:1月14日 定植:3月16日 収穫:5月18日～(マルチ+べたがけ)

- ・外葉は割合コンパクトにでき、キャベツはL玉に良く揃った。



● 播種期 ○ 育苗 ● 定植 — 生育 ■ 収穫 ○ トンネル被覆

栽培上の注意点

来喜は、温度上昇期に結球するため、割れに注意し、早めの収穫を行うことが大切です。有機肥料、CDU肥料など肥効が一度に出ない肥料を使うことで、裂球開始時期を遅らせることも可能です。